

のどか 令和5年度 事業報告

1 放課後等デイサービスの運営

2 理念

- (1) 子どもたちの安全を保障します
- (2) 地域と調和し子どもたちを育てます
- (3) 子どもたちの主体性を育てます

3 運営方針

- ・子どもと家族が笑顔でいられるように協力・相談し支援します。
- ・安全に配慮し、子どもたちが安心して自分らしく居ることができる場所をつくります。
- ・様々な事を体験し、仲間と喜びや成長を共に感じられるあたたかい場所づくりを目指します。

4 支援内容

(1) 職員数 6名 (管理者兼児童発達支援管理責任者1名 ケアワーカー5名)

(2) 利用者数 (定員10名)

(3) サービス提供時間

平日(放課後) 午後2時30分～午後5時30分

学校休業日 午前10時～午後4時

(4) サービス提供プログラム

- ・各家庭より来所
- ・午前 休日プログラム(創作・レクリエーション・調理・自由遊び等) ※学校休業日
- ・昼食(お弁当) ※学校休業日
- ・午後 休日プログラム(創作・レクリエーション・野外活動等) ※学校休業日
- ・自由遊び・個別作業活動をする
- ・おやつを食べる
- ・集団活動
- ・帰りの支度をして帰る(送迎車、お迎え)

(5) 年間行事予定

- ・毎月活動カレンダーを保護者に配布した。

別紙参照

(お雛様・七夕・夏まつり・ハロウィン・クリスマス会等)

- ・お誕生日会を実施した。
- ・のどかInstagramにて活動の様子を随時配信した。
- ・長期休みには、みんなで川遊び、公園、博物館や工場見学等に出かける事が出来た。
- ・1階のプレイルームは、児童の希望があれば随時利用できるようにした。ほぼ毎日利用することになり、遊具も新たに揃えたものが多い。その際には、保護者や児童の希望を聞いて購入している物も多い。

(6) 家庭連絡

- ・個別の連絡帳
- ・送迎時の伝達
- ・お便り
- ・個別面談(年2回)
- ・LINEでのやり取り

5 資金計画

別紙予算書通り

6 その他

次年度も引き続き、まずは子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる居場所となるように努めていく。その上で、保護者等と共に子どもの現状や将来のことについてよく相談したうえで支援計画を作成し、それに基づいた専門的支援を行っていく。また保護者との信頼関係を構築するために、送迎時や随時LINE等を通じて連絡を取り合っ子ども情報を共有し、必要に応じて相談支援専門員等の外部の意見を伺いながらより良い支援になっていくように努める。地域に対しては、Instagram等のSNSを通じて情報発信をしたり、常日頃から地域の社会資源を意識的に利用すること等によって、地域に広く認知され、受け入れられる施設になるよう行動する。